

編集後記

サッカーワールドカップ、日本がドイツやスペインに勝利して決勝トーナメントに進出したことで、日本中が歓喜に包まれています。日本代表の活躍と、各国のスーパースターたちのプレイを楽しみたいと思います。

近年、IT技術の進展、AI技術の進化など、最先端の技術を活用した高度な土木技術・建設技術の開発が進められています。本号では特集テーマを「先端建設技術の開発」として、建設施工における新技術、NETISをはじめ、建設施工・建設機械のIT技術、ロボット化・自動化、自動制御についての取り組みや技術を広く紹介しています。

巻頭言で、宮城大学の蒔苗耕司教授が、今後デジタルツインといった仮想の情報空間や、AIによる情報解析がさらに進化することによって、蓄積された情報をもとに過去と現実が精度高く再現され、さらに未来の高度な予測が可能となることを記述しています。本号に寄せられた様々な先端建設技術は、そうした将来の建設工事を実現するための様々な挑戦の一端に繋がります。

リアルな先端建設技術の展示会として、先日、つくばの国立研究開発法人土木研究所で国交省が主催した「遠隔施工等実演会～施工DXチャレンジ2022～」が開催されました。これは、国交省関連機関やゼネコン、

建機メーカ、ベンチャー企業などが開発した遠隔施工ソリューションを一堂に集めて実演するイベントで、二日間に渡って数百名の来場者を集め大変盛況でした。本機関誌でも報告されたことがある遠隔施工技術が数多く展示実演されていました。一度にこれだけの様々な遠隔施工技術を目にすることが出来る機会は、今まで無かったのではないかと思います。それぞれの技術に実際に触れることで、その操作感や映像の臨場感などを比較することが出来る非常に得難い機会でありました。昨今の遠隔施工技術は、データの無線伝送能力に依存する傾向があるため、会場の無線インフラの整備など苦労があったと聞いていますが、主催された方は、そうした失敗や課題を見出すことも、このイベントの主眼だと話していました。今回は初回でしたが、来年も継続して開催する意向と聞いていますので、是非期待したいと思います。

とかく他国と比較して生産性が低いと言われる日本の産業界ですが、建設産業においては逆に他国よりも危機感は強く、デジタル化の進捗によって着実に進歩していると感じています。本号で取り上げたような多くの先端技術が、早期に広く建設現場で活用され、そこに従事する方々の生産性向上と就労環境の改善につながることを願います。

2022年12月3日時点
(山本・宇野)

1月号「建設機械特集」予告

・遠隔施工等実演会 ・ICT活用により作業装置を自動化した除雪トラックの概要報告 ・油圧ショベルPC78US-11 ・後方超小旋回型油圧ショベル オフセットブーム仕様機 ZX135USOS-7
・ブレードマシンコントロール機能搭載の後方超小旋回ミニショベル ・安全性と作業効率を向上した新型ラフテラックレーン 「安全性」「快適性」「機能性向上」を追求した不整地運搬車 ・小型トラック架装用ユニックレーン ・建築分野におけるBIM活用のためのクレーン施工計画支援ソフトウェア ・プラストホールドリル稼働サポートシステム F-MICAS
・SDX407-2 リーダ式アースドリル ・次世代ホイールローダの開発

【年間定期購読ご希望の方】

①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 9,408円(税・送料込)

機関誌編集委員会

編集顧問

| | |
|-------|-------|
| 今岡 亮司 | 加納研之助 |
| 後藤 勇 | 佐野 正道 |
| 新開 節治 | 関 克己 |
| 高田 邦彦 | 田中 康之 |
| 田中 康順 | 中岡 智信 |
| 渡邊 和夫 | 見波 潔 |

編集委員長

中野 正則 日本ファブテック(株)

編集委員

| | |
|-------|--------------|
| 菊田 一行 | 国土交通省 |
| 垂井 保典 | 農林水産省 |
| 細田 豊 | (独)鉄道・運輸機構 |
| 岡本 直樹 | (一社)日本機械土工協会 |
| 穴井 秀和 | 鹿島建設(株) |
| 赤坂 茂 | 大成建設(株) |
| 宇野 昌利 | 清水建設(株) |
| 阿部 靖 | (株)大林組 |
| 加藤 友希 | (株)大林組 |
| 出口 明 | (株)竹中工務店 |
| 宮川 克己 | (株)熊谷組 |
| 松本 清志 | (株)奥村組 |
| 京免 継彦 | 佐藤工業(株) |
| 平田 惣一 | 鉄建建設(株) |
| 副島 幸也 | (株)安藤・間 |
| 松澤 享 | 五洋建設(株) |
| 飯田 宏 | 東亜建設工業(株) |
| 佐藤 裕 | 日本国土開発(株) |
| 丑久保吾郎 | (株)NIPPO |
| 室谷 泰輔 | コマツ |
| 山本 茂太 | キャタピラージャパン |
| 花川 和吉 | 日立建機(株) |
| 丹治 雅人 | コベルコ建機(株) |
| 漆戸 秀行 | 住友建機(株) |
| 小黑 誠 | (株)加藤製作所 |
| 本間 正敏 | 古河ロックドリル(株) |
| 松本 正徳 | 施工技術総合研究所 |

事務局

(一社)日本建設機械施工協会

建設機械施工

第74巻第12号(2022年12月号)(通巻874号)

Vol.74 No.12 December 2022

2022(令和4)年12月20日印刷

2022(令和4)年12月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

| | | |
|-----------|----------------------------|-----------------|
| 施工技術総合研究所 | 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 | 電話(0545)35-0212 |
| 北海道支 | 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8 | 電話(011)231-4428 |
| 東北支 | 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18 | 電話(022)222-3915 |
| 北陸支 | 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 | 電話(025)280-0128 |
| 中部支 | 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10 | 電話(052)962-2394 |
| 関西支 | 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4 | 電話(06)6941-8845 |
| 中国支 | 〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 | 電話(082)221-6841 |
| 四国支 | 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 | 電話(087)821-8074 |
| 九州支 | 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30 | 電話(092)436-3322 |

本誌上への
の広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中